

東海財界倶楽部例会開催 駐名古屋大韓民国総領事館 鄭煥星総領事を招いて



講演を行う駐名古屋大韓民国総領事館総領事・鄭煥星氏



乾杯の挨拶をするホクセイ社長・山下三男氏

小社主催の異業種交流会「東海財界倶楽部」の第二三回目が十一月二十一日、ホテルオークラレストランで開催され、駐名古屋大韓民国総領事館・鄭煥星（チョン・フアンソン）総領事による「韓日交流の深さ」と題する講演を行った。

日本と韓国を人的交流、文化交流、経済関係からみた現状に始まり、地理的にも近い距離である両国の関係、両国の言葉に共通する点や日本にある韓国の歴史に関係する地名が各地にあることから、近代以降の文化交流までわたった。そして「揺るぎのない韓日関係を築くには、『相互理解・交流の強化』『経済・文化等の実質協力を深化』『諸問題は適切に管理・解決』が必要である」と締めくくった。

講演の後、歓談に移り和やかに懇親した。

当日の主な参加者は、あいち産業振興機構・森鋭一理事長、東海地区信用金庫協会・鈴木正俊専務理事、中部日中経済交流会・大矢裕慈会長、産経新聞・櫻井大輔名古屋総局長ら。